



ばいりん

令和4年5月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862



この花のように
この海のように

校長 芦垣 幸代

4月22日には1年生を迎える会がありました。梅林小のことを知ってほしいと、上級生の各学年がクイズ動画を作りました。楽しく工夫されていて、1年生を歓迎する気持ち、安心して過ごしてほしいという願いがこめ

られていました。どの学年もスタートしたばかりですが、協力して作った動画に感心しました。1年生も興味深く動画を見て、楽しそうにクイズに答えていました。

そんな1年生のある朝の教室。登校すると手洗いをして、先生に挨拶し、健康観察表を提出します。自分の支度をすませると、歌集を取り出しています。すると、どこからともなく、校歌を歌い始める子が。何人かの歌声が一緒になっていきます。驚くことにしっかりと歌っていて、上手です。それは、まだ新年度がスタートして5日目くらいのときでした。梅林小の校歌を好きになってくれたのだなあとうれしくなります。梅林小学校の校歌は、開校10周年を前にした昭和43年9月28日に誕生しました。開校20周年の記念誌に、「作詞を数々の立派な校歌をつくられた神保光太郎先生にお願いし、実際に梅林小にいらしていただき、校風や児童の気持ちを知らするために座談会も開かれ、その後もたびたび相談しながら作られた。そして、土肥泰先生の作曲により校歌が完成した」とあります。「丘を越えれば広い海」が広がっていた風景が浮かんできます。「この花のように」「この海のように」と、子どもたちの豊かな成長にこめた願いを大事にしていきたいと思います。

1年生に限らず、音楽室に近い校長室には音楽の授業での歌声が聞こえてきます。今はどの学年も校歌を歌っています。元気よく歌い始めたものの、高い声のところでも小さな声になるクラス、声量は控えめでも、綺麗な声が聞こえてくるクラス、様々です。音楽専科や担任に話を聞くと、「まずは、自信をもって表現できるようになってほしい」「みんなで歌うこと、歌声を合わせることができるようになってほしい」「少しずつ」と話していました。

今年度は、月に1回、音楽朝会を計画しています。コロナ禍の中でも、感染拡大防止に取り組みながら、音楽を通して豊かな心を育てていきたいと考えています。